

よりよい就学のために

～支援を必要とする5歳児の保護者の皆さまへ～

和歌山市教育委員会

支援を必要とするお子様を含めすべての子供たちが、安心して生き生きと学校生活が送れるように、和歌山市の公立小学校及び義務教育学校（前期課程）では一人一人に応じた指導・支援を行う特別支援教育を行っています。

新しく始まる小学校生活で、お子様の持っている力を最大限伸ばし、自信を持って過ごすことができるようにするためには、お子様の様子や状態をしっかりとつかみ、適切な支援が受けられる「学びの場」を考えていくことが大切です。

1 就学先

保育所 保育園 幼稚園 認定こども園 療育施設等

市立小学校及び義務教育学校（前期課程）

（3）特別支援学校

- （1）特別支援学級
（知的、自閉症・情緒、弱視、難聴、肢体不自由等）
- （2）通常の学級
- （2）-①通級指導教室（言語障害、LD等）

紀北支援学校、和歌山さくら支援学校、
紀伊コスモス支援学校（知的障害、肢体不自由）
和歌山盲学校（視覚障害） 和歌山ろう学校（聴覚障害）
和歌山大学教育学部附属特別支援学校

（1）特別支援学級

障害があるために通常の学級における指導では十分に効果を上げることが困難な児童生徒のために、小・中学校に置かれる少人数の学級（1学級8人を上限）です。

（2）通常の学級

担任の先生が中心となり、どの子にもわかりやすい授業、学習や活動に見通しをもつ支援等を行いながら、一人一人を大切にする学級づくりを進めています。

（2）-①通級指導教室

構音（こうおん）や吃音（きつおん）など、ことばについての改善を目的とした「言語障害通級指導教室」と、LD、ADHD、高機能自閉症等の子どもに、特性に応じた教育支援を行う「LD等通級指導教室」があります。通常の学級に在籍して、設置校で週1回程度指導を受けます。（在籍校にない場合、保護者の送迎により設置校に通います。）

（3）特別支援学校

一人一人の実態に応じた教育課程を編成し、各教科等の指導内容・方法を工夫し、障害の種別に応じた専門的な教育を行っています。



2 各学級等の 主な指導・学習内容

(1) 特別支援学級

特別支援学級では、必要に応じて特別支援学校の教育内容等を参考にしながら、小集団の中で個に応じた生活に役立つ内容が指導されています。小学校では、体力づくりや基本的な生活習慣の確立、日常生活に必要な言語や数量、生活技能などの指導を実施しています。

知的発達に遅れのないお子様は、原則的に小学校の学習指導要領に準じて通常の学級と同じ教科の学習や自立活動を行います。

このように特別支援学級においては、特別の教育課程を編成して学習します。

○自立活動

自立活動は、個々の子供の自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う学習です。すべての特別支援学級で行っています。

○各教科等を合わせた学習（例：生活単元学習）

児童の状態等によっては、各教科、道徳、特別活動及び自立活動の一部または、全部を合わせて指導することが効果的な場合があります。生活単元学習では、生活に密着した内容や社会との結び付きのある活動を中心に、体験を通して学習します。

○交流及び共同学習

特別支援学級と通常の学級の児童が、活動を共にし、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことや、個に応じた教科等のねらいが達成できるよう計画的に行われます。

障害のある子供にとっても、障害のない子供にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともにお互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会です。

知的発達がゆっくりな児童の教育課程（例：2年生） ○知的な遅れがない児童の教育課程（例：5年生）

	月	火	水	木	金
1	自立活動	国語	国語	国語	生活単元
2	国語	算数	国語	算数	生活単元
3	算数	体育	生活	生活	算数
4	生活	国語	体育	音楽	国語
5	道徳	図工	学活	体育	音楽
6		図工			

	月	火	水	木	金
1	自立活動	外国語	自立活動	道徳	国語
2	国語	国語	社会	国語	算数
3	算数	算数	理科	算数	社会
4	理科	音楽	体育	社会	理科
5	体育/図工	総合	学活	家庭/音楽	体育
6	図工	総合		外国語	自立活動

※○がついている学習は交流及び共同学習です。

(2) 通常の学級

～すべての子供たちが安心して授業に参加し、「わかる・できる」を実感できる授業～

①授業の流れ

- ・1時間の授業の流れと進行状況を必要に応じて視覚的に提示する。
- ・単元全体の流れを示し、見通しを持てるようにしておく。

②学習環境

- ・整理整頓された教室、シンプルで見やすい板書
- ・わかりやすく、書きやすいノートやワークシートの工夫

③指示・説明・発問の工夫

- ・簡潔で、ゆっくり短い言葉で話す。
- ・言葉だけで伝えにくいことは、視覚支援（具体物や写真、ICT など）をする。
- ・抽象的、あいまいな表現を避け、具体的にわかりやすく伝える。



(2) -① 通級指導教室

●言語障害通級指導教室（ことばの教室）

ことばの教室では、能力や状態に応じて、個別にまたはグループで次のような指導を行います。

- 音を聞き取る ○舌や口唇の動きの獲得、呼吸の調節 ○口腔機能を高める
- 心肺機能を高める ○話す速さやリズムをつかむ ○緊張をほぐし話すことを楽しむ
- 特殊音節の聞き取り、発音、表記
- 語彙を広げる活動
 - ・すごろく、カルタなどの活動を通して、やり方を理解する
 - ・スムーズに読む、たくさんの文字の中から必要な文字を見つける
- 文章の読み取り
 - ・単語のかたまりを意識する、語の意味がわかる
 - ・文章の読み取りができる
- 順序だてて話をする ○話し言葉を文章にする 等

しただし がまん



ひっこし センター



「にもつは だい七に はこんでね」

●LD 等通級指導教室（さばーと教室）

さばーと教室では、日常生活や遊びなどの諸活動において生じるつまづきや困難を軽減し、必要な知識・技能・態度及び習慣を養うために、一人一人の能力や状態に応じて、個別にまたはグループで次のような指導を行います。

- 情緒の安定 ○学習レディネスの育成
- 学習にかかわるスキルの習得
 - ・認知能力の偏りや弱さの改善
 - ・運動能力の協応性や困難性の改善
- ソーシャルスキルの習得
 - ・対人関係の育成
 - ・コミュニケーション能力の育成
 - ・集団活動のルールやマナーの理解と習得
- 場面や状況に合わせた行動のコントロール



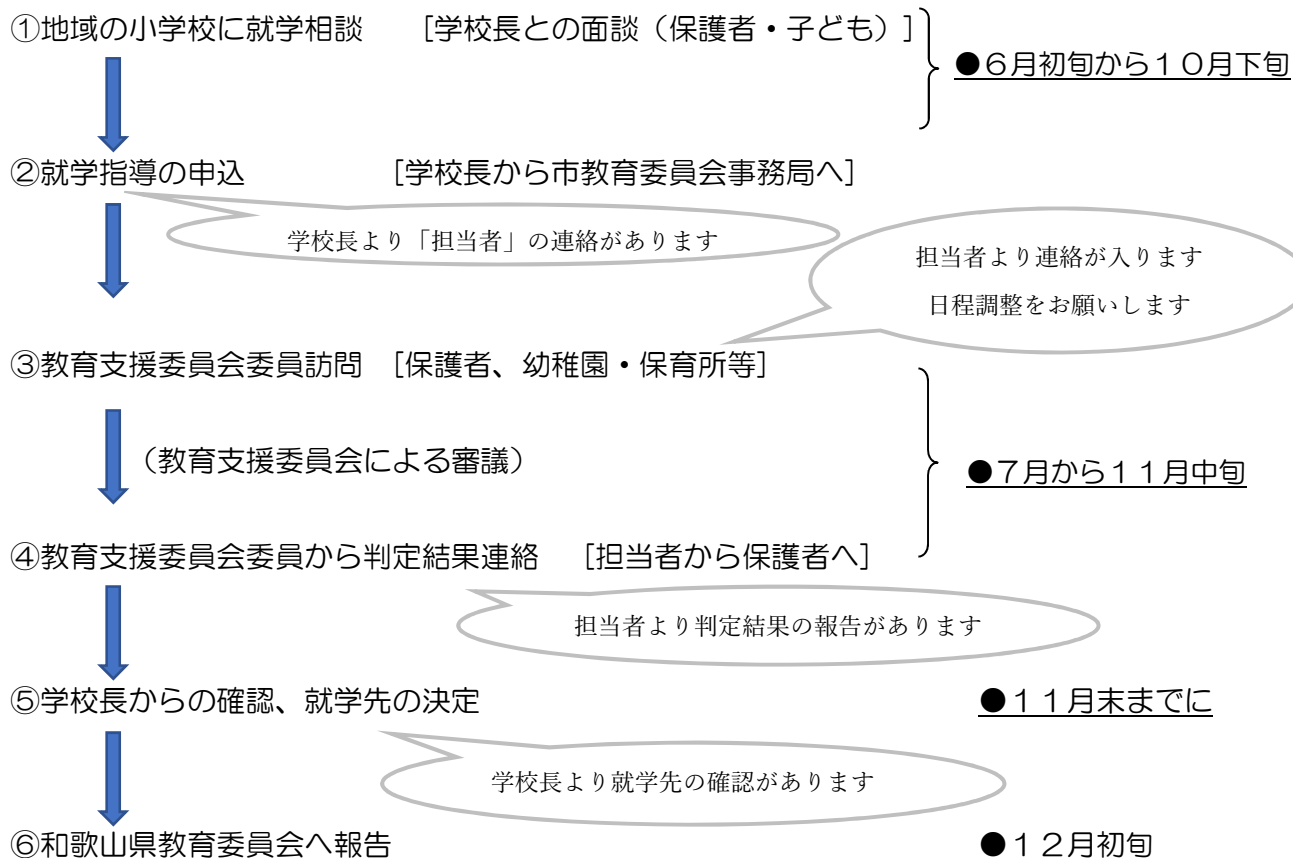
※通級指導教室については通常学級在籍となるため、申込みは小学校入学後となります。

就 学 相 談 に つ い て

特別支援学級や特別支援学校への就学を考えられている場合は、地域の小学校が窓口となっていますので、6月頃からご相談ください。まずは、小学校へ電話にて連絡をお願いします。

また、小学校での就学相談の際には、お子様の状況がわかる資料等（診断書、手帳等）があればお持ちください。

1 就学先決定までの大まかな流れ



2 特別支援学校 学校見学・体験入学の実施

和歌山さくら支援学校

紀伊コスモス支援学校

紀北支援学校

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

3 教育支援委員会について

医師、福祉関係者、学識経験者、教育関係者等の専門的知識のある委員によって構成されています。

お問い合わせは
和歌山市教育委員会 学校支援課まで
和歌山市七番丁23番地
073-435-1139

